

富山県  
魚津市埋蔵文化財分布調査報告1

—松倉・上中島—

2014年  
魚津市教育委員会

## 序

山と海、そして川、大自然に恵まれた魚津市は、その大部分が片貝川により形成された扇状地上に位置しています。

県指定の史跡である縄文時代早期の桜峠遺跡や越中の戦国時代に欠かすことのできない松倉城跡をはじめ、市内の各所には、先史の遺跡が数多く残されています。

過去の人々の痕跡がそのまま地中に残されている遺跡は、今を生きる私たちが、次の世代へと受け継いでいかなければならない大切な文化財です。

この大切な埋蔵文化財を保護するため、本市では平成25年度より、遺跡の詳細分布調査を実施することになり、本年はその初年度にあたります。遺跡の分布調査を実施し、その詳細を確認することは、遺跡内における開発との調整や、今後の遺跡の保存・活用において重要なことです。

この報告書が、地域の歴史を知るための一つの手段として多くの人々に活用され、地域の歴史研究と埋蔵文化財保護に対する理解に役立てば幸いです。

おわりに、調査の実施にあたり、地区の方々をはじめ関係者の方々に多大なご協力とご理解をいただきましたことに、深く感謝申し上げます。

平成26年3月

魚津市教育委員会  
教育長 長島 潔

## 例　　言

- 1 本書は魚津市教育委員会が国庫補助を受けて実施している、市内遺跡詳細分布調査の調査報告書である。
  - 2 調査は、魚津市教育委員会が主体となり実施した。
  - 3 今年度の調査は、魚津市松倉地区、上中島地区を対象とした。
  - 4 調査事務局は、魚津市教育委員会生涯学習・スポーツ課におき、文化係主任的場茂晃が調査事務を担当し、生涯学習・スポーツ課長南塙智樹が総括した。現地踏査、資料の整理、本書の執筆と編集は、的場が行った。
- 調査担当者　　魚津市教育委員会生涯学習・スポーツ課文化係　主任　的場茂晃  
　　調査補助員　　石坂正男、小川栄幸、小川勝広、澤崎保興、田村紀明、松本明夫、山下進  
　　整理作業員　　松田文彦
- 5 現地調査にあたって、松倉地区、上中島地区の方々に多大なご協力、ご理解を得た。
  - 6 採集遺物及び記録資料は、魚津市教育委員会が保管している。

## 目 次

I 位置と環境 .....	1
II 調査の経緯 .....	2
III 調査の概要 .....	5
(1) 遺跡の概要 .....	5
(2) 主な採集遺物 .....	19
IVまとめ .....	21

## 挿図目次

第1図 平成25年度調査対象範囲（縮尺1/40,000） .....	3
第2図 分布調査結果概要図1（縮尺1/15,000） .....	7
第3図 分布調査結果概要図2（縮尺1/15,000） .....	11
第4図 分布調査結果概要図3（縮尺1/15,000） .....	15
第5図 遺物実測図（縮尺1/3） .....	20

## 表 目 次

第1表 調査対象範囲における周知の埋蔵文化財一覧 .....	4
--------------------------------	---

## 図版目次

図版1 作業風景	図版4 調査写真
図版2 調査写真	図版5 調査写真
図版3 調査写真	図版6 遺物写真

## I 位置と環境

魚津市は、富山平野の北東部に位置し、面積約200 km<sup>2</sup>、人口4万4千弱を数える。市内には北から順に、布施川、片貝川、角川、早月川の主要な4河川が流れている。北側の黒部市との境をなす布施川、毛勝山（標高2,414m）や僧ヶ岳（標高1,855m）を源流とする片貝川、大平山周辺に源流をもつ角川、南側の滑川市との境をなす早月川が市域を貫流し、日本海へと注いでいる。片貝川や早月川は、源流から海へ至るまでの高度差に対し、流路延長が短いことから県内でも有数の急流河川として知られている。

魚津市の地形は、立山連峰の一部である毛勝山や僧ヶ岳などの山岳地帯とその前山をなす丘陵地帯、平野部の扇状地で大部分が構成されている。山地から流れる急流河川は深い谷を形成しながら多くの土砂を運び、山地を抜けたところで扇状地を形成する。市の平野部のうち、半分以上は片貝川の扇状地である。さらに扇状地上を流れる河川の両側には河岸段丘が顕著に発達し、数段の段丘面が見られる。現在、市内には118か所の遺跡が確認されており、山城・砦を除く遺跡の多くは、この河岸段丘の発達した洪積台地上や段丘が沖積地に埋没するあたりで確認することができる。

旧石器時代の遺跡は少なく、石垣平A遺跡と早月上野遺跡の2遺跡がある。石垣平A遺跡では、貝殻の石刀等が採集されている。早月上野遺跡ではナイフ形石器や搔器等の石器が出土している。

縄文時代の遺跡には、富山県で初めて押型文土器が出土した県指定史跡の桜峠遺跡がある。また環状集落であることが確認された早月上野遺跡や天神山式土器の標識遺跡である天神山遺跡のほか、佐伯遺跡、吉野遺跡、印田遺跡等多くの遺跡が確認され、大部分は縄文時代中期に属するものである。

弥生・古墳時代の遺跡は、縄文時代と異なり、確認されている数が少ない。北陸自動車道建設に伴って、湯上B遺跡では弥生時代後期と古墳時代前期の遺跡であることが、印田遺跡では古墳時代中期の遺跡であることが判明している。このほか、佐伯遺跡からは弥生時代後期の竪穴住居跡や方形周溝墓等が確認されている。

古代の遺跡には、市内で10数か所の散布地が確認されている。このうち発掘調査が行われた主な遺跡には、多数の掘立柱建物が確認された佐伯遺跡、古代の瓦が出土し、寺院の存在が推定されている友道遺跡、石帶や製鉄関連の遺物が出土した仏田遺跡等がある。

中世の遺跡には、確認されている多くが山城や砦跡、城館等である。今年度の調査対象地内には、松倉城跡の城下町であったと推定されている鹿熊地内がある。

## II 調査の経緯

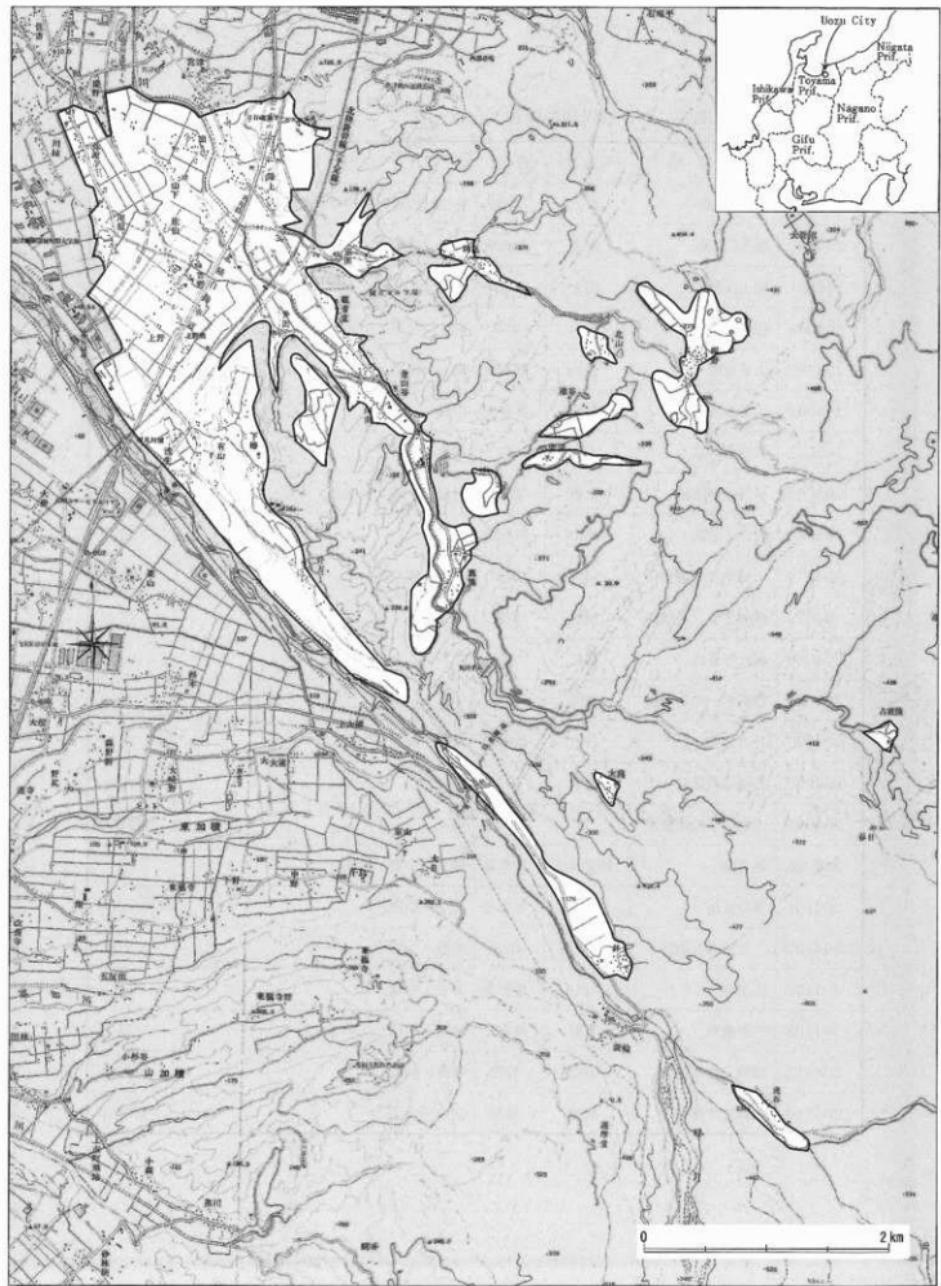
これまで市内における遺跡の分布調査をあげると、まず昭和48年（1973）に魚津市が富山考古学会に委託して実施した調査がある。その調査結果は『魚津市埋蔵文化財遺跡分布調査報告書』として刊行されている。その後、北陸自動車道の建設や大規模開発が魚津市郊外の洪積台地に向けられるようになり、遺跡の把握が急務となつた。そのため、昭和57～59年度（1982～1984）に、今後、開発が進むと思われる範囲において遺跡の分布調査が実施され、『富山県魚津市 遺跡分布調査概要Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ』が刊行された。平成5年（1993）に富山県埋蔵文化財センターが発行した『富山県埋蔵文化財包蔵地地図』においては、市内で104か所の埋蔵文化財包蔵地が確認され、ある程度の遺跡の分布状況が明らかにされている。

しかしながら、これまでの分布調査は主に北陸自動車道や国道8号バイパス、林道等の道路建設や大規模開発等に先立つての分布調査であった。そのため、ここ数年、開発行為に伴つて実施した分布調査で新たに遺跡が発見されることもあり、改めて体系的に市内の詳細分布調査を実施することとなった。

調査は、魚津市が国庫補助を受けて実施した。調査対象地内を踏査し、土器や石器等の遺物の採集を行つた。採集した遺物は、その地点を地図に記録し、分布状況を把握した。採集された遺物は、洗浄後、注記、実測などの記録作業を行つた。

なお、詳細分布調査にあたつては、山城等の遺跡が分布する丘陵部を除く範囲とし、山間部にある耕作地等も調査対象として、埋蔵文化財包蔵地の確認を行つた（第1図）。

今年度の調査は松倉地区（古鹿熊・大熊・鉢・虎谷・鹿熊・金山谷・室田・稗畠・北山・坪野・観音堂）と上中島地区（舛方・有山・浅生・下椿・吉野・佐伯・川原・弥源寺・出・岩嵩・升田）とした。なお、調査対象範囲内に所在する周知の埋蔵文化財は第1表のとおりである。



第1図 平成25年度調査対象範囲（縮尺1/40,000）

第1表 調査対象範囲における周知の埋蔵文化財一覧

遺跡番号	遺跡名	所在地	種別	主な時代	現況
204049	湯上B遺跡	湯上	集落	弥生（後期）・古墳（前期）	道
204050	湯上C遺跡	湯上	散布地	弥生（後期）	道
204051	湯上A遺跡	湯上	散布地	縄文	畑
204059	佐伯遺跡	佐伯	集落	縄文（前期・中期）・弥生・奈良・平安	道・田
204060	山下遺跡	佐伯	散布地	縄文（前期・中期）	田
204061	山下II遺跡	佐伯	散布地	中世	田
204062	吉野中世墓	吉野	墓	縦倉	宅地
204064	早月上野遺跡	上野	集落	旧石器・縄文・奈良・平安・中世・近世	道・田
204069	北山I遺跡	北山	散布地	縄文	畑
204074	小菅沼武家屋敷跡	小菅沼	城館	中世～江戸	宅地
204079	鹿熊オヤシキ遺跡	鹿熊	城館	中世	田
204080	淋光寺遺跡	鹿熊	寺院	中世	山林
204081	鹿熊ホーエン遺跡	鹿熊	城館	中世	畑
204090	升方遺跡	升方	散布地	縄文（前期・中期）	田
204092	鹿熊城廬遺跡	鹿熊	城館	中世	境内地
204095	白倉小学校南遺跡	鉢	散布地	縄文	学校用地
204096	鉢遺跡	鉢字鉢造	散布地	縄文（中期・後期）	田
204101	坪野遺跡	坪野	散布地	縄文（中期）	田・山林
204102	小菅沼神社遺跡	小菅沼	城館	中世	境内地
204107	出遺跡	出	散布地	平安・中世	田
204108	吉野遺跡	吉野	散布地	縄文（中期）・中世	田
204113	鹿熊三枚田遺跡	鹿熊	城館	室町・戦国	耕作地
204114	鹿熊矢竹遺跡	鹿熊	城館	室町・戦国	耕作地

### III 調査の概要

#### (1) 遺跡の概要

今回の分布調査対象地には合計23の遺跡が確認されている。遺跡の位置は第2~4図に示した。以下、遺跡ごとに概要を記す。

##### 遺跡名 湯上B遺跡(ゆのえBいせき)

遺跡番号204049 周知 所在地 魚津市湯上 種別 集落

現況道・田・畠 時代 弥生(後期)・古墳(前期)

##### 概要

北陸自動車道魚津サービスエリア一帯が遺跡である。北陸自動車道建設に先立つ発掘調査で、縄文時代から古墳時代の遺跡であることが判明している。発掘調査では弥生時代末から古墳時代初頭の竪穴住居跡3棟、古墳時代前期の竪穴住居跡1棟が確認されている。今回の調査では、サービスエリア西側の畠で、縄文土器、黒曜石、須恵器が採集された。

##### 遺跡名 湯上C遺跡(ゆのえCいせき)

遺跡番号204050 周知 所在地 魚津市湯上 種別 敷布地

現況道 時代 弥生(後期)

##### 概要

湯上集落の東の丘陵上に所在する。北陸自動車道の建設に先立って分布調査が実施され、弥生時代後期の遺跡とされたが、発掘調査では遺物や遺構は確認されていない。今回の調査でも遺物を探集することはできなかった。

##### 遺跡名 湯上A遺跡(ゆのえAいせき)

遺跡番号204051 周知 所在地 魚津市湯上 種別 敷布地

現況畠 時代 縄文

##### 概要

北陸自動車道魚津サービスエリアの東側にある丘陵裾に所在する。北陸自動車道建設に先立つ分布調査では、縄文時代の遺跡であることが確認されている。今回の調査では遺物は採集されなかった。

##### 遺跡名 佐伯遺跡(さえきいせき)

遺跡番号204059 周知 所在地 魚津市佐伯 種別 集落

現況田・道 時代 縄文(前期・中期)・弥生・奈良・平安

##### 概要

早月川右岸の台地東側に所在する。過去に数回の発掘調査が行われ、縄文時代から平安時代の遺物が確認されている。遺構は、弥生時代後期の竪穴住居跡や方形周溝墓、奈良・平安時代の掘立柱建物等多数の遺構が確認されている。現在は、圃場整備が実施されているが、発掘調査の状況等から遺跡の大部分は地下に保存されていると考えられる。今回の調査では、遺跡中央付近の川の法面や水田法面で、当該期の遺物が多数採集された。

**遺跡名** 山下遺跡(やましたいせき)

**遺跡番号**204060 **周知** **所在地** 魚津市佐伯 **種別** 敷地

**現況** 田 **時代** 繩文(前期・中期)

**概要**

早月川右岸の台地東側に所在する。1970年代前半の圃場整備時の工事によって、中心部分が破壊されたとのことである。今回の調査では、圃場整備が実施された範囲では、ほとんど遺物を採集することはできなかったが、工事の及ばなかった遺跡北端の畠から、繩文土器や石器等がまとめて採集された。

**遺跡名** 山下II遺跡(やましたIIいせき)

**遺跡番号**204061 **周知** **所在地** 魚津市佐伯 **種別** 敷地

**現況** 田・道 **時代** 古代・繩文・中世

**概要**

早月川右岸の台地東側に所在する。山下遺跡と同様、1970年代前半に圃場整備事時の工事によって発見された遺跡である。平成8年(1996)に、国道8号バイパス建設に伴う遺跡の発掘調査では、住居跡等の遺構は確認されていないが、繩文時代、古代、中世、近世の遺物が確認されている。今回の調査では、近世の陶磁器が採集された。

**遺跡名** 吉野中世墓(よしのちゅうせいぼ)

**遺跡番号**204062 **周知** **所在地** 魚津市吉野 **種別** 墓

**現況** 田 **時代** 鎌倉

**概要**

早月川右岸の台地上、早月上野遺跡の西側に所在する。1960年頃、吉野地内の水田で小規模な圃場整備を行った際、径約5m、高さ50cm程の不正円形の塚があり、塚上から板碑が、塚の中から蔵骨器が出土した。現在は、一面水田で、その面影はない。今回の調査では遺物は採集されなかった。

**遺跡名** 早月上野遺跡(はやつきうわのいせき)

**遺跡番号**204064 **周知** **所在地** 魚津市上野 **種別** 集落

**現況** 田・道 **時代** 旧石器・繩文・奈良・平安・中世・近世

**概要**

西を早月川に、東を角川に挟まれた幅1km以上の平坦な洪積台地上に所在する。南北1km、東西500mを測る規模の大きな遺跡である。過去の圃場整備によって、一部、遺跡の変更が考えられる。今回の調査では、遺跡の範囲内において広範に遺物が確認された。過去の発掘調査成果で遺跡の中心は上野神社東側と考えられており、採集された遺物も上野神社東側で多く確認された。

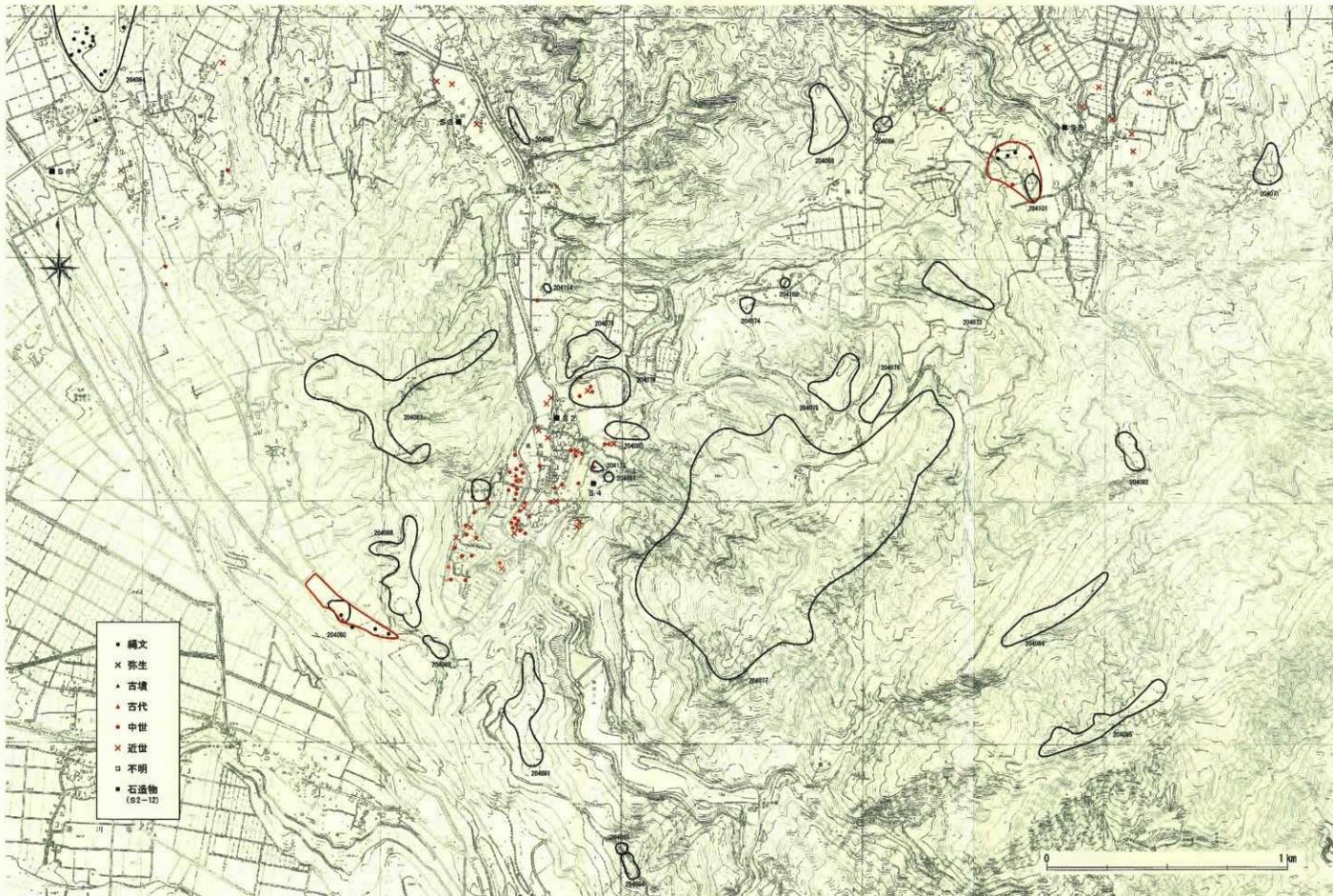
**遺跡名** 北山I遺跡(きたやまIいせき)

**遺跡番号**204069 **周知** **所在地** 魚津市北山 **種別** 敷地



第2図 分布調査結果概要図1 (縮尺1/15,000)

204046 宮津B遺跡 204047 宮津C遺跡 204048 宮津A遺跡 204049 湯上B遺跡 204050 湯上C遺跡 204051 湯上A遺跡  
 204052 室田砦 204053 大谷遺跡 204054 石垣遺跡 204055 石垣平A遺跡 204056 石垣平B遺跡 204057 大谷砦  
 204059 佐伯遺跡 204060 山下遺跡 204061 山下II遺跡 204062 吉野中世墓 204064 早月上野遺跡 204065 稗畠砦  
 204066 後藤城跡 204104 麗野遺跡 204107 出遺跡 204108 吉野遺跡 204119 湯上D遺跡



第3図 分布調査結果概要図2（縮尺1/15,000）

204064 早月上野遺跡 204067 金山谷横穴状遺構 204068 北山城跡 204069 北山Ⅰ遺跡 204071 坪野城跡 204073 小菅沼C城跡  
 204074 小菅沼武家屋敷跡 204075 小菅沼A城跡 204076 小菅沼B城跡 204077 松倉城跡 204078 焼山砦 204079 鹿熊オヤシキ遺跡  
 204080 深光寺遺跡 204081 鹿熊ホーエン遺跡 204082 やせもり砦 204084 長蔵砦 204085 中之堂砦 204087 升方城跡 204088 南升方城跡  
 204089 石の門砦 204091 水尾城跡 204092 鹿熊城殿遺跡 204093 水尾南城北遺跡 204094 水尾南城跡 204090 升方遺跡  
 204101 坪野遺跡 204102 小菅沼神社 204113 鹿熊三枚田遺跡 204114 鹿熊矢竹遺跡



第4図 分布調査結果概要図3（縮尺1/15,000）

204095 白倉小学校南遺跡 204096 鉢遺跡 204097 虎谷金山跡 204099 河原波金山跡

現況 番

時代 繩文

概要

北山城跡の北側の斜面に所在する。詳細は不明である。今回の調査でも遺物は採集されなかった。

遺跡名 武隈武家屋敷（たけくまぶけやしき）

遺跡番号204074 周知 所在地 魚津市小菅沼 種別 城館

現況 宅地 時代 中世・近世

概要

小菅沼集落の南西に所在する。松倉城主椎名氏の家老、武隈氏の居館跡といわれている。枡形門跡や土壘、石垣等が遺存している。屋敷跡は一辺60~70mの方形で、小菅沼集落の突端に位置している。今回の調査では遺物は確認されなかった。

遺跡名 鹿熊オヤシキ遺跡（かくまおやしきいせき）

遺跡番号204079 周知 所在地 魚津市鹿熊 種別 城館

現況 田 時代 中世

概要

角川右岸の鹿熊集落を見下ろす高台の水田に所在する。平成13年（2002）に遺跡の西端で発掘調査が行われ、礎石や土坑跡、溝跡等の遺構や土師器皿、珠洲焼、越前焼、信楽焼、越中瀬戸焼等が確認された。今回の調査では、遺跡の中央付近で土師器皿が採集された。

遺跡名 淋光寺遺跡（りんこうじいせき）

遺跡番号204080 周知 所在地 魚津市鹿熊 種別 寺院

現況 山林 時代 中世

概要

鹿熊オヤシキ遺跡の南側の丘陵裾に所在する。平成13年（2002）と平成19年（2008）に発掘調査が行われた。明確な遺構は確認されていないが、土師器皿、越前焼、白磁、青磁、越中瀬戸焼等が出土した。今回の調査では遺物は確認されなかった。

遺跡名 鹿熊ホーエン遺跡（かくまほーえんいせき）

遺跡番号204081 周知 所在地 魚津市鹿熊 種別 城館

現況 畑 時代 中世

概要

角川右岸の鹿熊集落を見下ろす丘陵裾に所在する。平成14年（2002）に行われた発掘調査では、良好に遺残する土壘や中世の土師器皿、珠洲焼、青磁、越前焼等が確認された。出土遺物の9割以上が土師器皿で占められており、その特殊性が指摘され、城館・寺院跡と想定されている。今回の調査では、遺物は採集されなかったが、鹿熊三枚田遺跡との間で、五輪塔の風輪、水輪が確認された。

遺跡名 升方遺跡（ますがたいせき）

遺跡番号204090 周知 所在地 魚津市升方 種別 敷布地

## 現況田

時代 繩文(前期・中期)

### 概要

早月川の上流、6kmの右岸の河岸段丘上の縁辺に所在する。段丘下との比高は25mである。今回の調査では、繩文土器と石器が採集された。遺物の分布状況から遺跡の範囲を拡大することにする。

### 遺跡名 鹿熊城殿遺跡(かくまじょうでんいせき)

遺跡番号204092 周知 所在地 魚津市鹿熊 種別 城館

現況 境内地 時代 中世

### 概要

角川左岸の春日社境内に所在する。現在も土壘の一部が遺存する。今回の調査では、遺跡の周辺から土師器皿が採集された。

### 遺跡名 白倉小学校南遺跡(しらくらしようがっこうみなみいせき)

遺跡番号204095 周知 所在地 魚津市 種別 敷布地

現況 旧学校用地 時代 弥生(後期)

### 概要

旧白倉小学校の南側山裾の畑に所在する。過去に打製石斧が1点採集されている。繩文時代の植物採集の領域として推定されている。今回の調査では遺物は採集されなかった。

### 遺跡名 鉢遺跡(はちいせき)

遺跡番号204096 周知 所在地 魚津市鉢 種別 敷布地

現況 田 時代 繩文(中期・後期)

### 概要

早月川の右岸奥にある鉢集落の南側の山裾に所在する。過去に、繩文土器、土製品、石器等が採集されている。今回の調査では遺物は採集されなかった。

### 遺跡名 坪野遺跡(つぼのいせき)

遺跡番号204101 周知 所在地 魚津市坪野・北山 種別 敷布地

現況 田・山林 時代 繩文(中期)

### 概要

坪野集落の南の小丘陵上に所在する。今回の調査では、この坪野遺跡から北へ下った山裾及び水田で、繩文土器、石器等が採集された。現在は水田となっているが、旧地形では浅い谷であったと思われる。遺物の分布状況から、遺跡の範囲を拡大することにする。

### 遺跡名 小菅沼神社遺跡(こすがぬまじんじゃいせき)

遺跡番号204102 周知 所在地 魚津市小菅沼 種別 城館

現況 境内地 時代 中世

### 概要

小菅沼にある日枝社境内に所在する。周囲よりやや小高い場所にあり、境内敷地内の周囲は

崖となっている。今回の調査では、遺物は確認されなかった。

**遺跡名 出遺跡(いでいせき)**

遺跡番号2040107 周知 所在地 魚津市出 種別 敷布地

現況 田・道 時代 弥生・平安・中世

**概要**

早月川右岸の台地東側に所在する。国道8号線バイパス建設に先立って行われた分布調査で確認された遺跡である。平成7年(1995)に発掘調査が行われ、弥生時代、平安時代、中世、近世の遺物や、土坑、井戸、ピット群等の遺構が確認されている。今回の調査では、縄文土器、近世の遺物が採集されている。

**遺跡名 吉野遺跡(よしのいせき)**

遺跡番号204108 周知 所在地 魚津市吉野 種別 敷布地

現況 田 時代 縄文(中期)・中世

**概要**

早月上野遺跡の北西約700mに所在する。昭和45~47年(1970~1972)にかけて圃場整備が行われた。翌48年(1973)に遺物の散布がみられ、遺跡であることが確認された。なお、近年、発掘調査が行われ、縄文時代、古代、中世の遺物や遺構が確認されている。今回の調査では、縄文土器、土師器皿、近世の遺物が採集された。

**遺跡名 鹿熊三枚田遺跡(かくまさんまいだいせき)**

遺跡番号204113 周知 所在地 魚津市鹿熊 種別 城館

現況 耕作地 時代 室町・戦国

**概要**

鹿熊地内の角川右岸、鹿熊ホーエン遺跡の北側に所在する。平成13年(2002)に発掘調査が行われた。明確な遺構は確認されていないが、土師器皿や瀬戸美濃焼、寛永通宝等が出土した。今回の調査では、土師器皿や珠洲焼、近世の陶磁器が採集された。

**遺跡名 鹿熊矢竹遺跡(かくまやだけいせき)**

遺跡番号204114 周知 所在地 魚津市鹿熊 種別 城館

現況 耕作地 時代 室町・戦国

**概要**

鹿熊地内の角川右岸、焼山砦の北側に所在する。平成15年(2004)に発掘調査が行われた。明確な遺構は確認されていないが、中世の土師器皿や珠洲焼、越前焼、瀬戸美濃焼、瓦器、青花、近世の越中瀬戸焼等が出土した。今回の調査では、遺物は確認されなかった。

**遺跡名 湯上D遺跡(ゆのえDいせき)**

遺跡番号204119 新規 所在地 魚津市湯上 種別 敷布地

現況 田 時代 中世

## 概要

湯上集落西側の水田に所在する。集落東側の丘陵には湯上A遺跡、湯上B遺跡、湯上C遺跡がある。今季の調査では、縄文土器、土師器皿、珠洲焼、青磁、白磁、近世陶磁器、元豊通寶等が採集された。中世の遺物が一定量確認されたため、湯上D遺跡として新規の遺跡登録をすることとする。

### (2) 主な採集遺物

今回の分布調査では、約300地点で遺物が採集された。1地点につき1点の遺物とは限らず、場所によっては多数の遺物が採集された。遺物は、採集資料のため、磨滅しているものが多い。以下に本報告に掲載した遺物についての概要を記述する。

1～6は縄文土器である。1～3は坪野遺跡、4は升方遺跡、5・6は早月上野遺跡から採集された。2は半隆起線文に刻み目を施す縄文時代中期の深鉢である。

7～13は古代の須恵器である。蓋、坏、壺を図示した。7～9・10・13は佐伯遺跡、11は早月上野遺跡から採集された。10の坏は外面ロクロナデ調整、底部は回転糸切りである。12の高台坏は底部に墨書が確認できる。文字であると思われるが、判別できない。

14～18は中世の土師器皿である。すべて鹿熊地内から採集された。そのうち、16と18は鹿熊オヤシキ遺跡内からの採集である。15は口縁端部に油煙痕が確認でき、灯明皿であったと考えられる。16は口径23.5cmを測る大型品である。内外面ナデ調整、底部外面はケズリ調整である。

19～22は珠洲焼である。19～21は壺の胴部、22は壺の底部である。19鹿熊オヤシキ遺跡から、21は鹿熊地内、20は早月上野遺跡内、22は湯上地内からの採集である。壺の胴部は3点とも外面はタキ調整、内面はナデ調整である。22は底部径21cmを測る大型の壺底部である。内外面ともナデ調整、底面にはケズリ調整が確認できる。

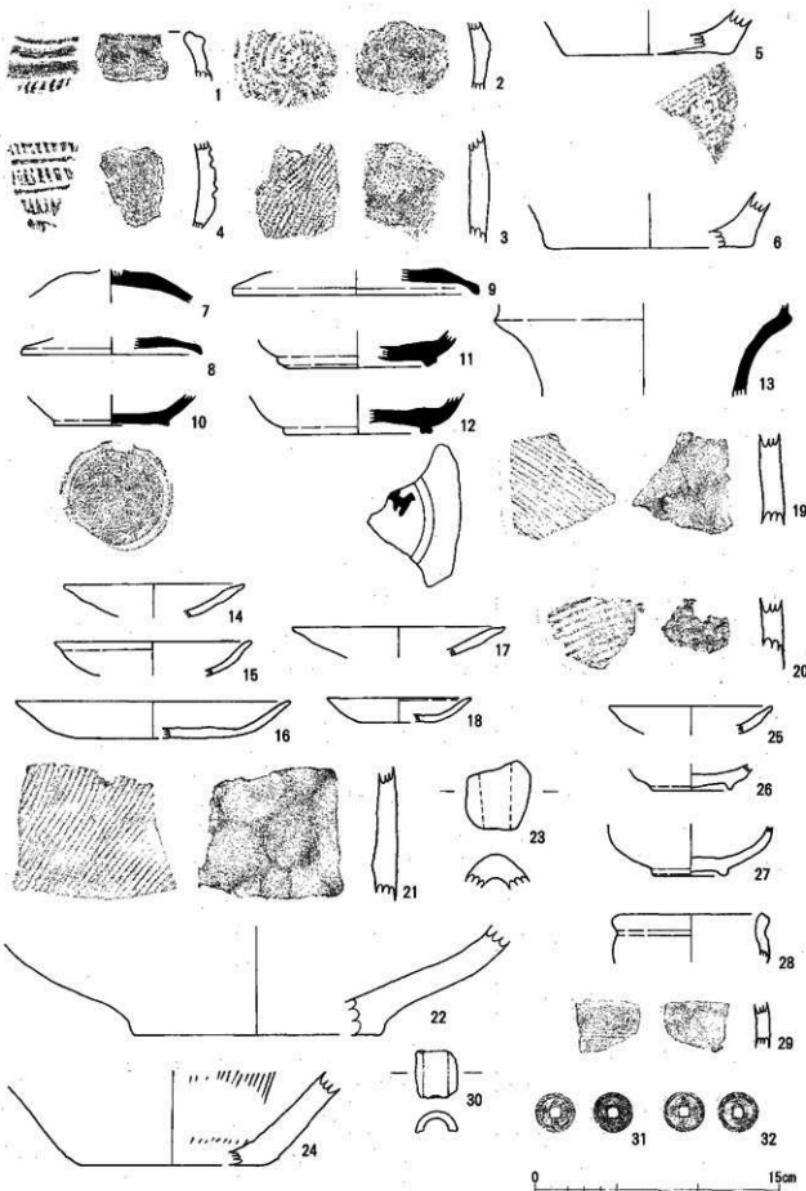
23は土師器の土錐である。鹿熊地内からの出土である。復元径3.8cm程度のものである。内外面とも磨滅が激しい。

24～26・28・30は越中瀬戸焼である。24・26・30は鹿熊地内、25は吉野地内、28は早月上野遺跡から採集された。24は擂鉢である。内外面ともロクロナデ調整で、内面は使用の痕跡であろうか、平滑な面となっており、御目も目が浅くなっている。25は皿で内外面に釉薬が施されている。26は高台付きの皿で、高台はケズリ出しである。内外面ともにロクロナデ調整である。28小型の壺である。内外面ともにロクロナデ調整である。30は土錐である。長さ4.2cm、径3.5cmを測る。内外面ともに釉薬が施されている。

27・29は近世陶器である。27は天目茶碗で、底部はケズリ出しの高台である。内外面ともに釉薬が施されている。29は壺で、内外面ともに釉薬が施されている。

31・32は古錢である。31は、湯上D遺跡から、32は稗畠地内から採集された。31は北宋の元豊通寶で、初鋤は1078年である。32は寛永通寶である。

このほか、早月上野遺跡や坪野遺跡、佐伯遺跡を中心に打製石斧や磨製石斧等の石器や黒曜石、珪化木等が確認されている。また、細片のため図示し得なかつたが、佐伯地内から弥生土器が採集されている。魚津市内においては数少ない弥生時代の遺物である。



第5図 遺物実測図（縮尺1/3）

#### IV　まとめ

今年度の調査対象地は、松倉城郭群の中心である松倉地区とその北西側の上中島地区であった。

松倉城郭群の本城である松倉城跡は14世紀前半に築城され、江戸時代に至る250年間の長きにわたって新川郡の政治的、軍事的中心であったとされる。この松倉城跡の麓には城下町と推定される鹿熊集落がある。鹿熊集落周辺では、過去に圃場整備が実施されており、既に遺跡が消滅した場所や盛土が行われ数メートル地下に遺跡が埋没した場所があったと思われるものの、今回の分布調査では場所によっては中世の遺物が多數確認され、城下町の実態解明の足掛かりになる基礎資料が蓄積された。鹿熊集落周辺については、城下町との関連もあることから、平成26年度に追加の分布調査を実施し、遺跡の範囲を確定することとした。

このほか、早月川右岸の台地上には、早月上野遺跡や佐伯遺跡、吉野遺跡など縄文時代から中世にかけての複合遺跡がある。早月上野遺跡は、市内で最も大きな遺跡である。今回の分布調査でも、遺跡内から広範囲にわたって遺物の分布が確認された。このほかの周知の埋蔵文化財包蔵地においても、採集地点や量の多寡はありながらも、遺物が確認されることが多かった。

また調査では、石造物の分布確認も行った。調査の結果、鹿熊地内、金山谷地内、坪野地内、出地内等で宝篋印塔や五輪塔、板碑の分布が確認された（第2～4図内のS2～S12）。

なお、今回の分布調査結果により、湯上D遺跡を新規の遺跡として登録し、坪野遺跡と升方遺跡では、遺跡の範囲外からもある程度の遺物が採集されたため、遺跡の範囲を変更することとした。

今年度は、本市で開始した埋蔵文化財分布調査の1年目である。今後も調査を重ね、市内全域の調査を実施し、遺跡の確認や周知の遺跡の詳細把握に努めていきたい。

## 参考文献

- 魚津市教育委員会 1973 『魚津市埋蔵文化財 遺跡分布調査報告書』
- 魚津市教育委員会 1981 『富山県魚津市 佐伯遺跡 県道拡張に伴う緊急調査報告』
- 魚津市教育委員会 1981 『富山県魚津市印田近世墓』
- 魚津市教育委員会 1882 『富山県魚津市早月上野遺跡』
- 魚津市教育委員会 1983 『富山県魚津市早月上野遺跡』
- 魚津市教育委員会 1983 『富山県魚津市遺跡分布調査概要Ⅰ』
- 魚津市教育委員会 1984 『富山県魚津市遺跡分布調査概要Ⅱ』
- 魚津市教育委員会 1985 『富山県魚津市遺跡分布調査概要Ⅲ』
- 魚津市教育委員会 1997 『富山県魚津市山下Ⅱ遺跡発掘調査報告書』
- 魚津市教育委員会 2000 『富山県魚津市吉野遺跡発掘調査報告書』
- 魚津市教育委員会 2002 『松倉城星群発掘調査報告Ⅰ』
- 魚津市教育委員会 2003 『松倉城星群発掘調査報告Ⅱ』
- 魚津市教育委員会 2004 『松倉城星群発掘調査報告Ⅲ』
- 魚津市教育委員会 2005 『松倉城星群発掘調査報告Ⅳ』
- 魚津市史編纂委員会 1968 『魚津市史 上巻』魚津市役所
- 魚津市史編纂委員会 2012 『図説 魚津の歴史』魚津市教育委員会
- (公財) 富山県文化振興財団埋蔵文化財調査事務所 2012 『早月上野遺跡発掘調査報告書』
- 富山県教育委員会 1975 『富山県魚津市早月上野遺跡第1次緊急発掘調査概報』
- 富山県教育委員会 1976 『富山県魚津市早月上野遺跡第2次緊急発掘調査概報』
- 富山県教育委員会 1979 『富山県ほ場整備関連事業 埋蔵文化財発掘調査概要 婦中町  
安田城跡 魚津市佐伯遺跡』



作業風景



1. 古鹿熊地内の宝篋印塔 (S1)    2. 鹿熊地内の宝篋印塔 (S2)  
3. 金山谷地内の宝篋印塔 (S3)



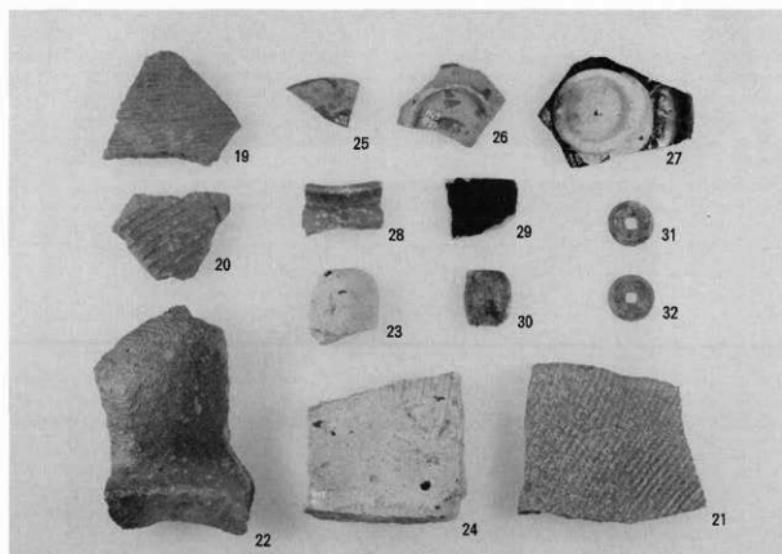
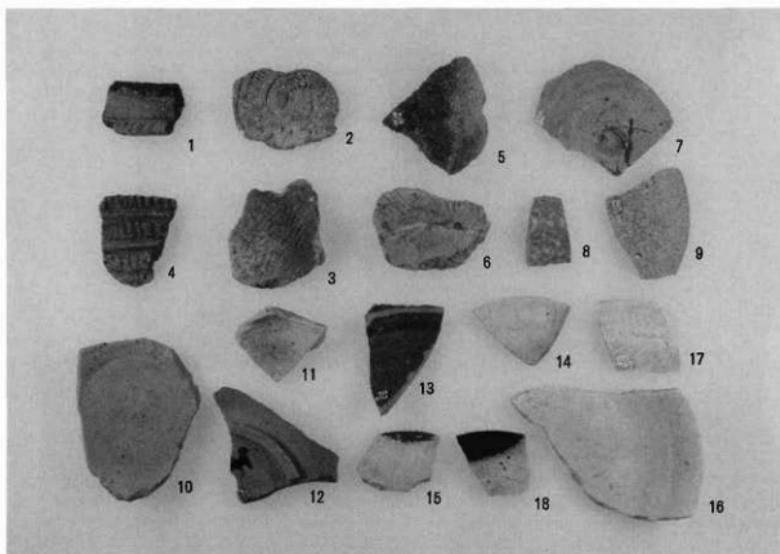
1. 鹿熊ホーエン遺跡付近の五輪塔（S4） 2. 坪野地内の五輪塔（S5）  
3. 浅生地内の五輪塔（S6）



1. 出地内の板碑 (S 7) 2. 出地内の五輪塔群 (S 8)  
3. 出地内の五輪塔 (S 9)



1. 吉野地内の五輪塔 (S10)    2. 吉野地内の五輪塔 (S11)  
3. 鉢地内の宝鏡印塔 (S12)



遺物寫真

## 報告書抄録

ふりがな	とやまけんうおづしまいぞうぶんざいぶんぶちょうさほうこくいち						
書名	富山県魚津市埋蔵文化財分布調査報告1						
編集者名	的場茂晃						
編集機関	魚津市教育委員会						
所在地	〒937-0066 富山県魚津市北鬼江313-2 TEL0765-23-1045						
発行機関	魚津市教育委員会						
所在地	〒937-0066 富山県魚津市北鬼江313-2 TEL0765-23-1045						
発行年月日	西暦2014年3月24日						
所収遺跡名	所在地	コード	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
	市町村	遭跡番号	° ° °	° ° °			
しないいせき 市内遺跡	富山県 魚津市 地内	16204	—		20131029 ～ 20131224	—	—
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項		
市内遺跡	—	縄文時代 弥生時代 古墳時代 古代 中世 近世	—	石器・縄文土器・弥生土器・須恵器・土師器・珠洲焼・瀬戸美濃焼・近世陶磁器	—		

富山県  
魚津市埋蔵文化財分布調査報告1

発行日 平成26年3月24日  
編集・発行 魚津市教育委員会  
〒937-0066  
富山県魚津市北鬼江313-2  
TEL (0765) 23-1045  
印 刷 魚津印刷株式会社

